

河川・下水道・住民が一体となった浸水被害の軽減

— 100mm/h安心プランの取り組み —

100mm/h安心プランとは

関係分野の行政機関(国・県・市)が役割分担し、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、住宅地や市街地の浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めた計画です。 ⇒ 茨城県2件登録(水戸市、ひたちなか市)

『中丸川流域における浸水被害軽減プラン(ひたちなか市)』

○背景

平成28年8月豪雨(最大時間雨量57mm/h)により、中丸川流域内で「床上浸水24戸」、「床下浸水149戸」の被害が発生。

○取り組み(目標)

平成28年8月降雨と同規模の降雨に対して、床上浸水被害を概ね解消及び家屋浸水被害の防止・軽減を図るとともに、道路冠水による通行止め箇所を減少させる。

○参画団体

国、市、県、堂端自治会、
日立オートモティブシステムズ株式会社

⇒ 中丸川流域の総合的な治水対策検討会議

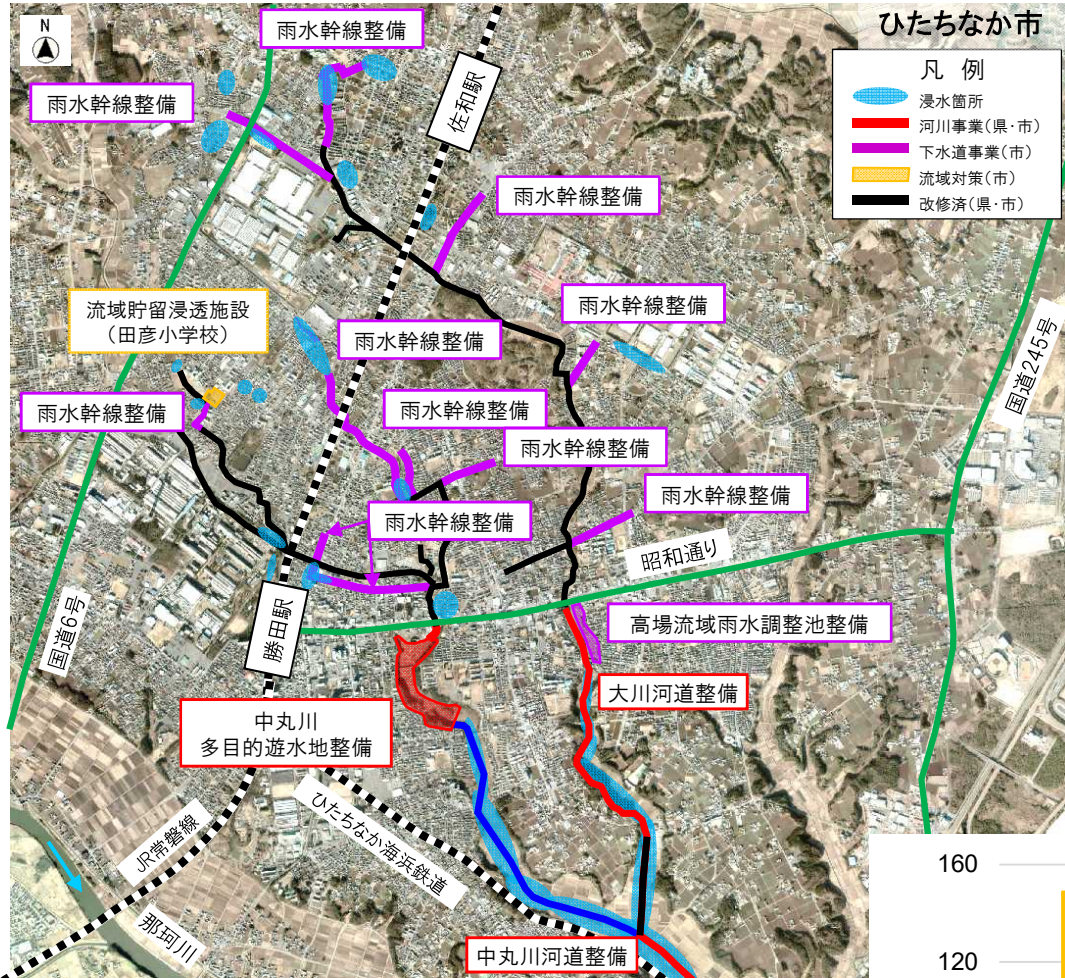


中丸川流域浸水状況



大川流域浸水状況

平成28年8月豪雨被害状況(ひたちなか市)



下水道事業

道路の下に雨水を流す管渠を整備!



うすいかんきよ 下水道事業(雨水管渠整備)

河川事業

洪水を流せるよう河道を拡幅!



河川事業(河川改修)

地域参画

関係者一体となって地域の対策を検討する会議!

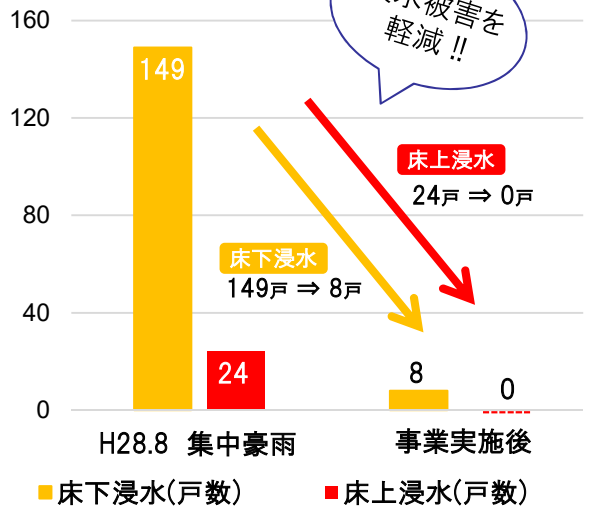


関係機関協議会

大雨に備えてため池の事前放流!



地元企業による事前放流



浸水被害を軽減!!

床上浸水 24戸 ⇒ 0戸

床下浸水 149戸 ⇒ 8戸

※シミュレーション結果より